



西会津中学校 学校だより

令和3年12月23日第10号
発行者 校長 佐藤 崇史

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

夢・自信・感動 ～これから大切にしたいこと～

本日で83日の登校日数の長い2学期が終わります。振り返ればあっという間です。生徒たちにとっては日々の授業だけでなく、「光桐祭」「修学旅行」「各種新人戦」などの行事も多くあり、本当にたくさんのごことを学び、経験できた4か月となりました。

2学期が終わるということは、私が西会津中学校に赴任して9か月が経つということですが、まだまだたくさんのごことを生徒たちに伝えたいという思いから、校長授業を実施しました。

何かを達成したり、成功したりするには、「夢」「自信」「感動」が大切だと思います。夢がなければ頑張れませんし、自信がなければ多くのことは達成できません。そして、人間ですから感動する、つまり心が動かなければ、行動につながらないことも多いです。そんな思いから、1年生には「カーテンの向こう」という題材で優しさについて感じてほしい、2、3年生には夢に向かって自信をもって前進してほしいという願いを込めて校長の授業を実施しました（これからも何回か校長授業を実施する予定です）。

2、3年生の授業では、植松電機専務取締役の植松努さんを紹介しました。植松さんは、小さいころのロケットを作りたいという夢をかなえた人です。そして、その原動力になったのは母親からの「思うは招く」という言葉だったといいます。「思うは招く」とは、「思ったらそうなるよ」という意味です。植松さんは、その言葉を大切に、夢を思い描き続けました。植松さんの『好奇心を"天職"に変える空想教室』という本の中の一部分を紹介します。

ぼくたちはたった一回の人生をぶっつけ本番で生きています。

なんのために生まれたのでしょうか。人のいうことを聞くために、あきらめるために、「おれの人生しょせんこんなものか」と思わされるために生まれてきたのでしょうか。違いますね。ぼくたちは知恵と工夫で、世界を救うために生まれてきました。世界を救うのは簡単です。世界を構成するすべての人間が、「自分なんて」と思わなくなればいい。「自分なんて」と思わないために、誰もが「できない理由」を探すことなく、「できる理由」だけを考えるようになればいい。たったそれだけで世界は、あっという間に良くなります。（中略）

もっともっと自信とやさしさを持つために、これからも「やったことがないこと」をやり続けてください。人生は雇われるだけじゃない。自分から「やったことがないこと」をはじめるのはありません。

過去は変えられませんが、未来は今からいくらかでも良くなります。

ここでいう「やったことがないこと」とは、これまで誰もやっていないことに挑戦するということよりは、「『やりたいこと』をやってみる」という意味に近いことがこの本を読むと分かります。

植松さんは、「どうせ無理」という言葉が人の可能性を奪うと言います。私たちは、いつのころからか、できるかできないかのラインを自分で決めて、「どうせ無理」と、できない理由を探すようになっていないでしょうか。できないということを誰が決めたのでしょうか。そして、夢をあきらめるようになったのは、どうしてでしょうか。夢は感動から生まれます。そして、その夢をかなえるためには自信が必要です。感動することが少なく、自信もなくては、夢はかないません。

ロケットといえば、NASAですが、その門には次のような言葉が刻まれているそうです。

Dream can do. Reality can do. (思い描くことができれば、それは現実になる)

あと少して今年も終わり、2022年になります。新しい年のスタートに、自分の夢がかなった姿を思い描きましょう。そうすれば、きっとそれが現実になります。まさに「思うは招く」です。

面接頑張っています～自分を見つめる時間です～

3年生が入試に向けた面接練習に取り組んでいます。高校入試の面接では、「高校生活のこと」「中学校生活のこと」「自分自身のこと」について、より具体的に聞かれます。もちろん、入試のためにやっているのですが、ある意味では、これまでの取り組みや将来に対する考えなどを含め、自分自身を見つめる時間となっているはず。将来の自分、中学校生活での自分、自分自身の夢や目標などを自分の言葉で表現できるようにすることは、とても大切なことです。本番を意識するとともに、過去を振り返りながら、これからの未来をイメージしていく面接練習にしてほしいと思います。



西会津町子どもの主張大会～夢を大切に～

12月4日(土)の「第30回西会津町子どもの主張大会」に西会津中から4名と2グループが出場し、堂々と自分の考えを発表しました。

個人の部は「将来の夢」がテーマでした。夢をもったきっかけや将来必要なことなどについて自分の考えを堂々と発表する姿は頼もしく感じました。将来の夢を達成した自分の姿をしっかりとイメージして、自信をもって努力しているってほしいです。やはり、「思うは招く」です。これからの未来は自分が決めるのです。

第30回 西会津町子どもの主張大会



校内レクリエーション大会～貴重な時間です～

12月6日(月)には、生徒会企画として校内レクリエーション大会を実施しました。種目は昨年同様のドッジボール。シンプルな種目ながら、各学級ともいろいろな作戦を立て、レクリエーションのはずが、本気モードでした。何より、全校生徒の笑顔で楽しむ姿が微笑ましく、心がほっこりする時間でした。そして、このように仲間と一緒に過ごす楽しい時間は、特に3年生にとって、貴重な時間だと感じました。

3年生卒業証書づくり ～伝統の出ヶ原和紙の作成に挑戦～



今年の卒業証書は、西会津伝統の出ヶ原和紙を使います。自分の卒業証書は自分で作るということで、3年生が和紙づくりに挑戦しました。

楮(こうぞ)の木の皮を剥ぎ取って、叩き、紙漉きまで体験し、自分たちの卒業証書になる和紙の原型を作成しました。これから乾燥などの工程を経て、来年3月11日の卒業式に卒業証書として使われます。

世界で自分だけの卒業証書。しかも自分たちの町西会津伝統の出ヶ原和紙で、自分たちが作成した和紙を使っただけの卒業証書。まさに一生の記念となる卒業証書です。一生の記念となる素晴らしい体験です。

町民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim (デシディム)」～アイデアの実現に向けて～

2年生が「アントレプレナーシップ・スクール2021」で考えたアイデアの実現に向けて動き出しました。町民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim (デシディム)」を活用し、町民の皆さんとのオンラインでの議論に挑戦します。生徒たちの考えが、このオンラインでの話し合いを通して、今後の西会津町の町づくりにつながっていきます。町の方々からご意見をいただきながら、自分たちの町をより良くしていくことができるという素敵な取り組みです。この取り組みを通してアイデアが実現できれば、学んだことの意味を実感し、できるという自信につながります。そしてそれは、町のためや社会のためにできることをやっという意欲を高めていくことになるはずで、これからどういう展開になっていくのか、ワクワクする取り組みです。



1月の予定

- 11日(火) 第3学期始業式
- 12日(水) 冬休み明けテスト
- 13日(木) 野沢初市
調査書作成委員会
- 19日(水) 第11回職員会議
熟読タイム9
- 21日(金) 第3回英語検定
- 26日(水) 後期専門委員会
部活動反省
調査書作成委員会